



オオジシギと姉妹湿地

釧路国際ウェットランドセンター

事務局員 堀 圭吾

オオジシギをご存じですか？

ジュツジュガモ？



ジェットサギ？

カミナリシギ？

オオジシギってこんな鳥

オオジシギ

チドリ目シギ科タシギ属

全長 約30cm

雌雄同色

くちばしが長い

繁殖期の行動「ディスプレイフライト」

準絶滅危惧種 (NT)

日本野鳥の会オオジシギ保護調査PJ

「オオジシギのディスプレイフライト」

<https://youtu.be/saeBlwD6U-0?si=xtwlXKAH-Ba7txgC>



分布：北海道、本州の一部、サハリン、
オーストラリア等

オーストラリアで越冬、日本で繁殖

⇒4月頃から釧路管内で広く繁殖期の行動がみられる！

越冬地はオーストラリア

主な越冬地: オーストラリア南東部の湿地

秋～冬にかけて、オーストラリアで越冬する



釧路湿原
厚岸湖・別寒辺牛湿原
霧多布湿原

ハンター河口湿地

面積3,388ha
1984年ラムサール条約登録

1994年 日本国内初の湿地による姉妹提携





姉妹湿地提携までの経緯

きっかけはオオジシギの調査

釧路西高等学校野外科学部 調査報告書「オオジシギの繁殖行動に関する研究報告書:GRUS」
(校舎周辺の湿原で営巣するオオジシギの調査研究)

1989(平成元)年

オーストラリア政府 国立公園野生生物課長来釧記念講演会開催
釧路西高校出席

1989(平成元)年

国際自然保護連合(IUCN)総会に市長出席 釧路西高校から報告書を提出

1990(平成2)年

オーストラリア国立公園野生生物局職員 釧路西高校へ訪問

1991(平成3)年

オーストラリア政府 国立公園野生生物局長からの礼状

1992(平成4)年

オーストラリア政府関係者 釧路西高校へ訪問

1993(平成5)年

ラムサールCOP5で来釧した局長夫妻 釧路西高等学校へ訪問

1994(平成6)年

姉妹湿地提携、姉妹校提携(釧路西高校⇔ジェズモンド高校)

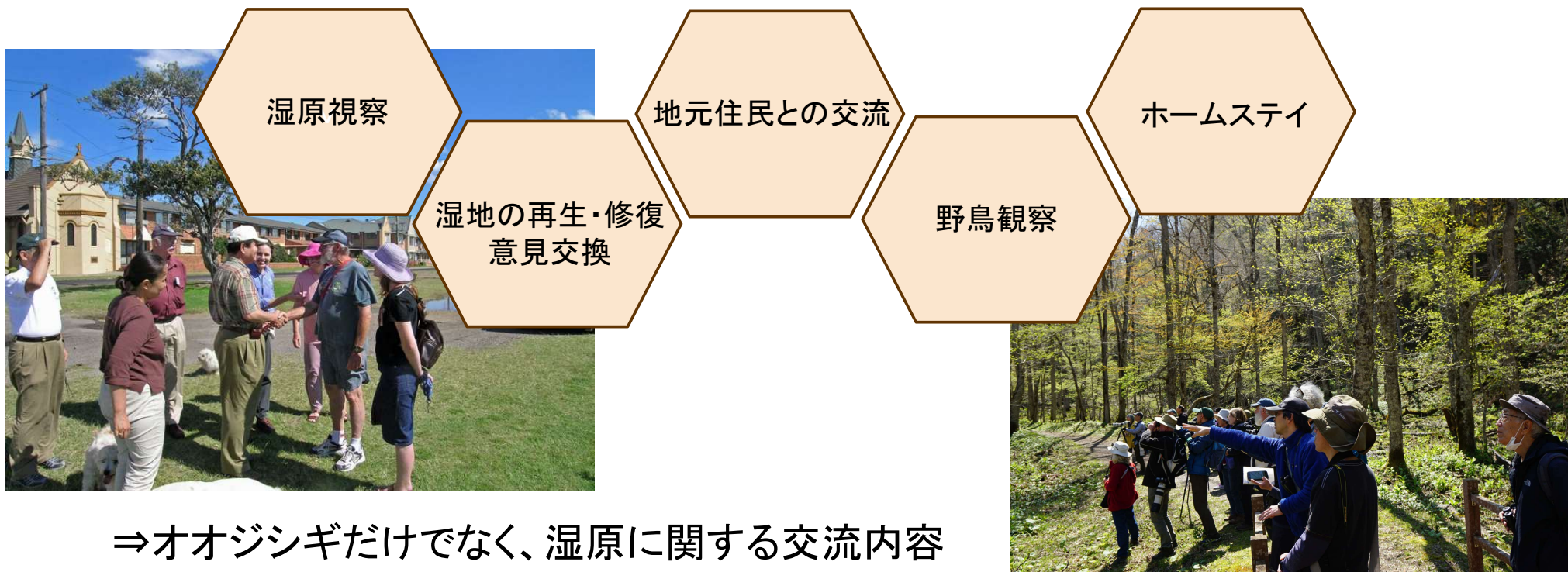
過去の姉妹湿地交流

姉妹湿地提携から30年以上経過

訪問交流回数

訪豪・訪釧について交流回数 **20回**以上

訪問交流内容



最近の姉妹湿地交流



2024(令和6年)

2024(令和6)年 姉妹湿地提携30周年



姉妹湿地提携
更新調印



ハンター・ウェットランドセンター訪問
現地視察



オオジシギのイラスト展
見学

2025(令和7)年

オオジシギ市民調査に関する事前調査及び令和8年度に向けての共有

釧路管内での調査事例紹介

『釧路湿原南部地域におけるオオジシギの生息状況について』報告書

調査主体

日本野鳥の会釧路支部、釧路市立博物館

調査背景

地域では普通の種とみなされている鳥も、気づかないうちに減少傾向にあることも。釧路管内のオオジシギの生息状況調査報告が少ない。

調査期間

2023(令和5)年6月1日～6月29日

調査結果

117メッシュ/208メッシュで個体確認（確認総個体数は**261羽**）

環境分類毎の1メッシュあたりの確認個体数の平均

草地・牧草地(**1.6羽**/メッシュ)、湿原・ヨシ原(**2.0羽**/メッシュ)、
その他(0.2羽/メッシュ)

《2004(平成16)年の調査と比較》

⇒個体確認範囲 **減少**(2023年:59%、2004年:76%)

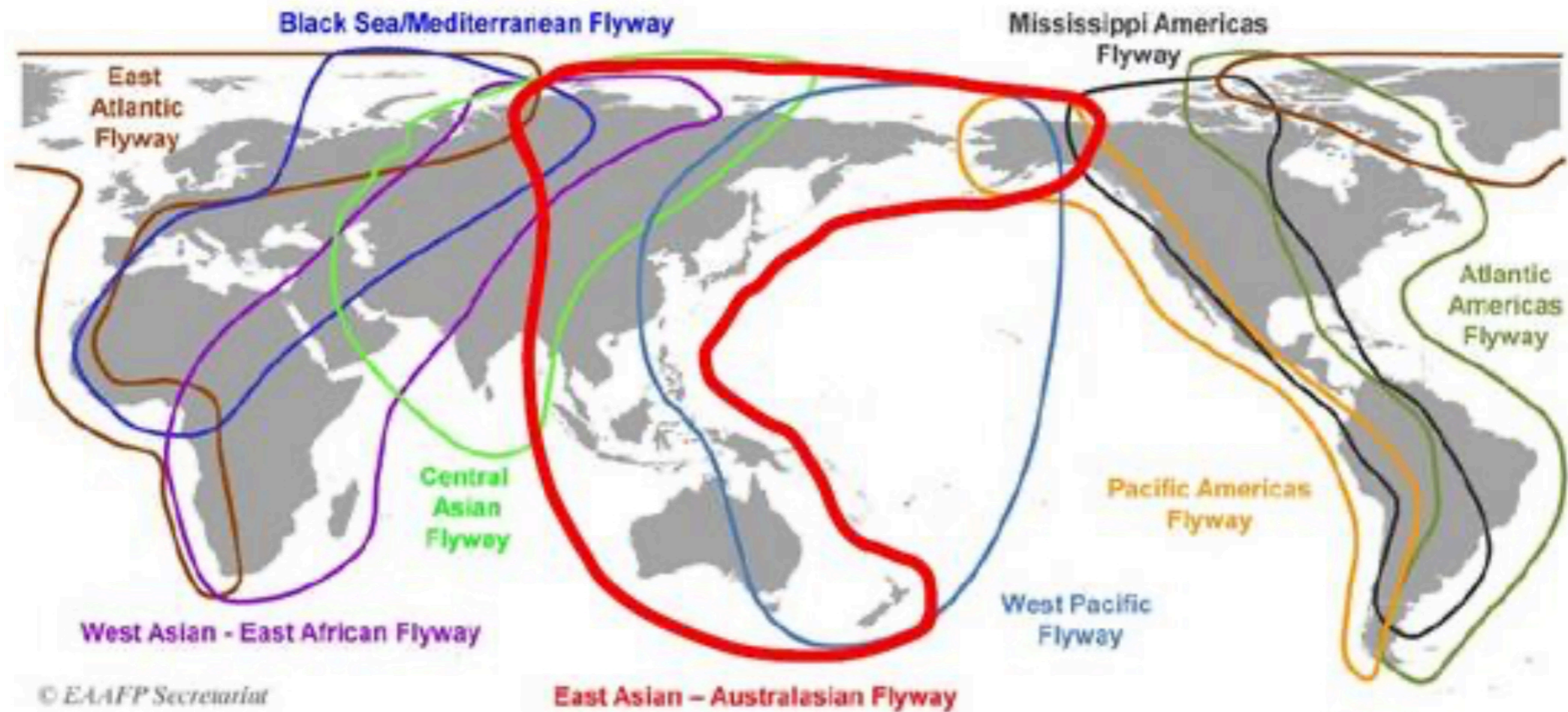
※ただし、調査方法や調査区域設定が異なるため、単純な判断はできない。

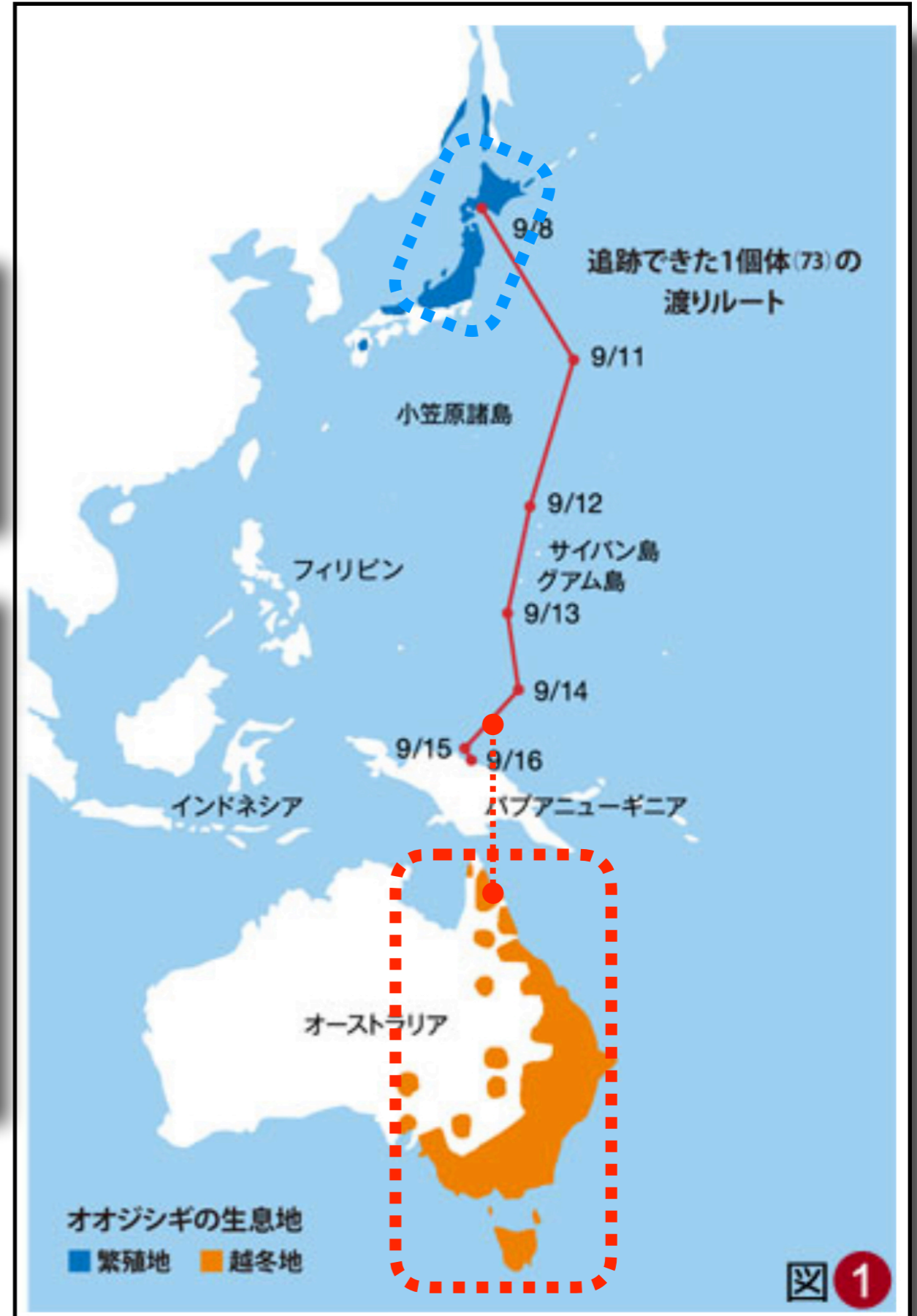


東アジア・オーストラリア地域 フライウェイ・パートナーシップ

East Asian - Australasian Flyway Partnership 2023

私たちは皆、東アジア・オーストラリア地域フライウェイの一員です！





オオジシギの繁殖環境

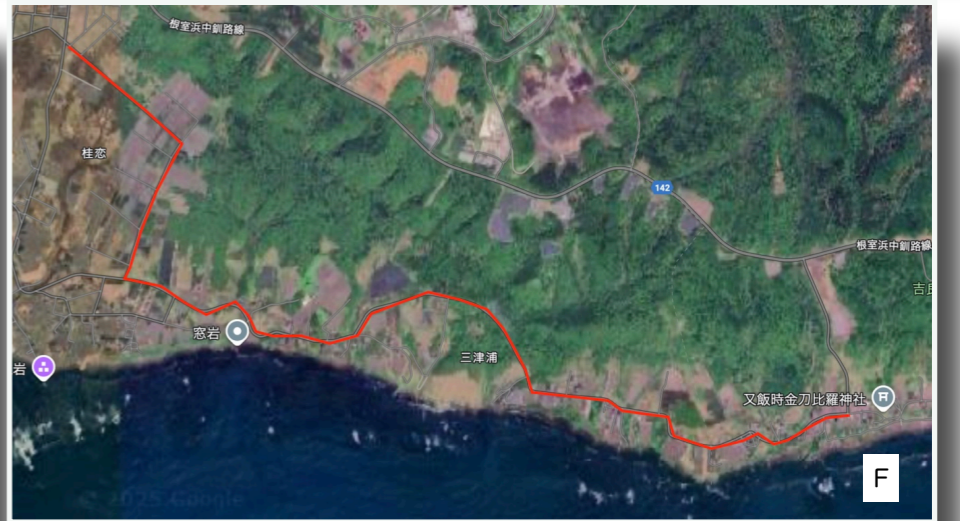
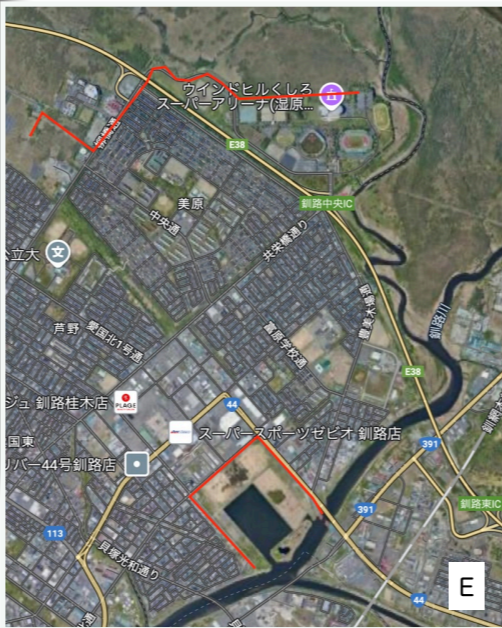
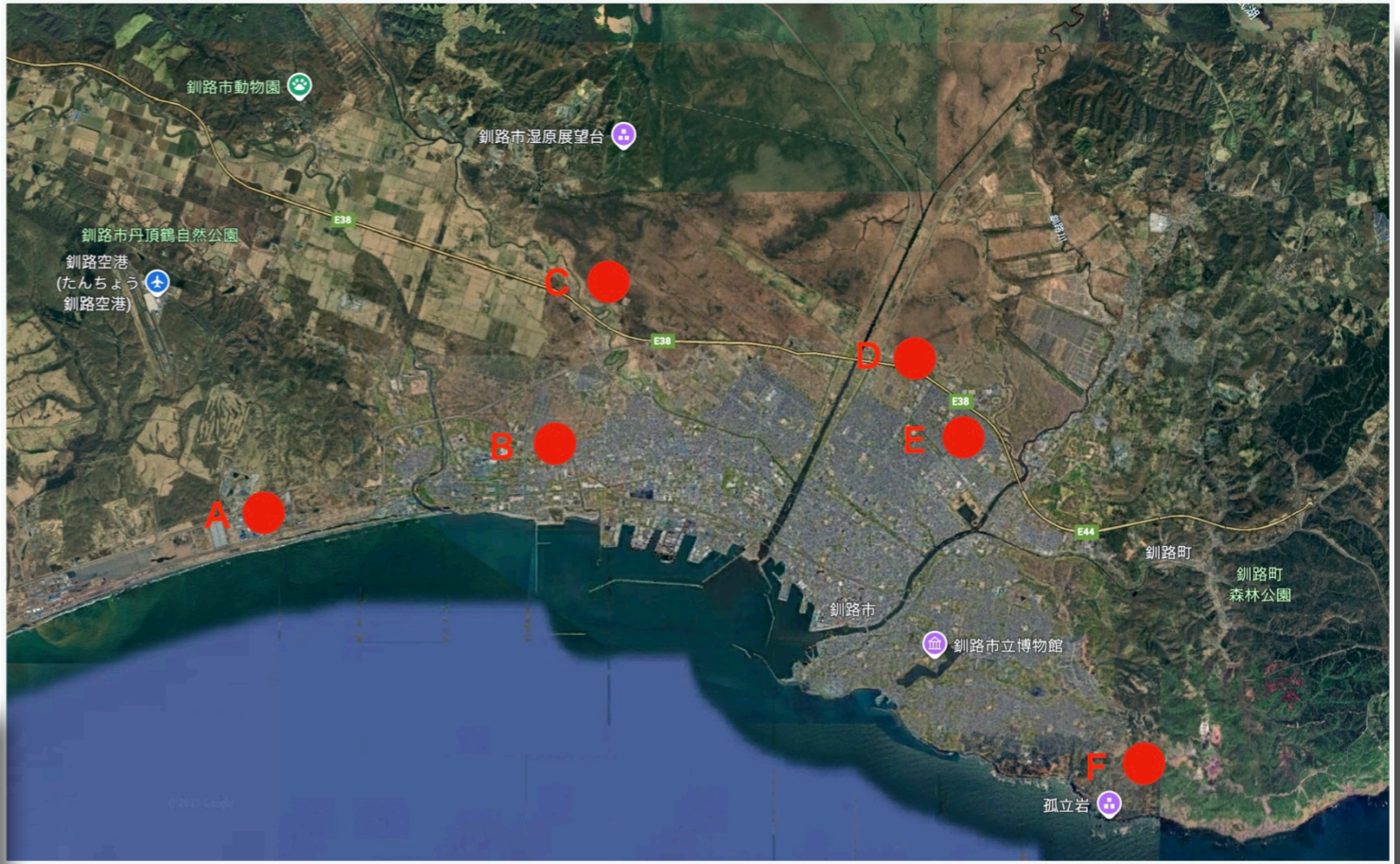


平地の草地・湿原 : 北海道、特に十勝地方や釧路などの
平地にあるやや湿った草地

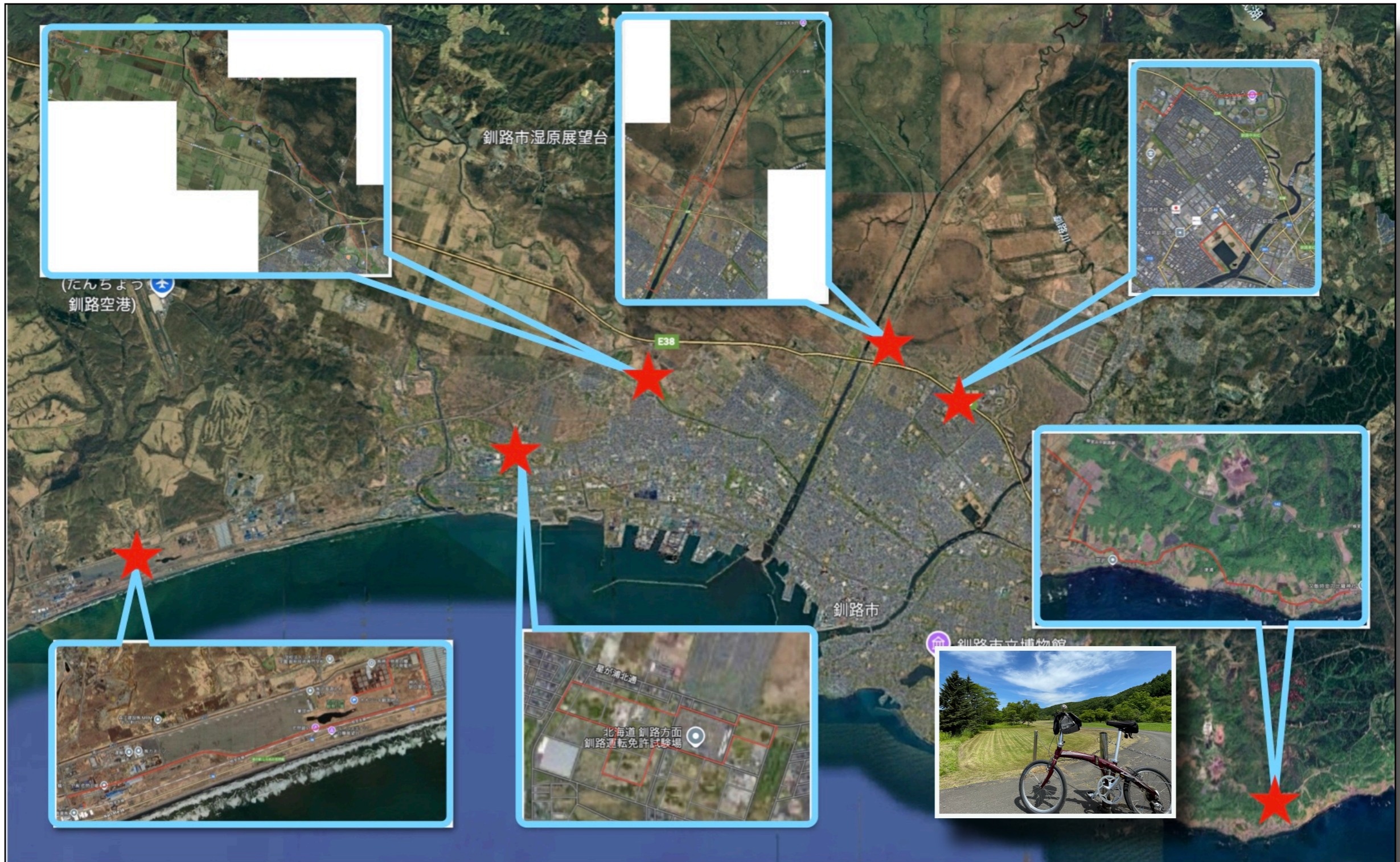
農耕地・牧草地 : 農耕地の開けた草地

伐採跡地・幼人工林 : 森林が伐採された後の開けた草地や
河川沿いの草地

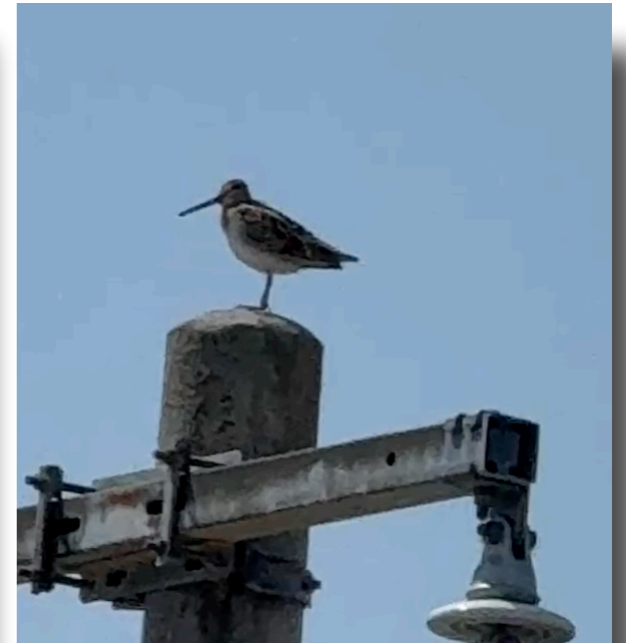
オオジシギのセンサス地域



実施したオオジシギセンサスのルート



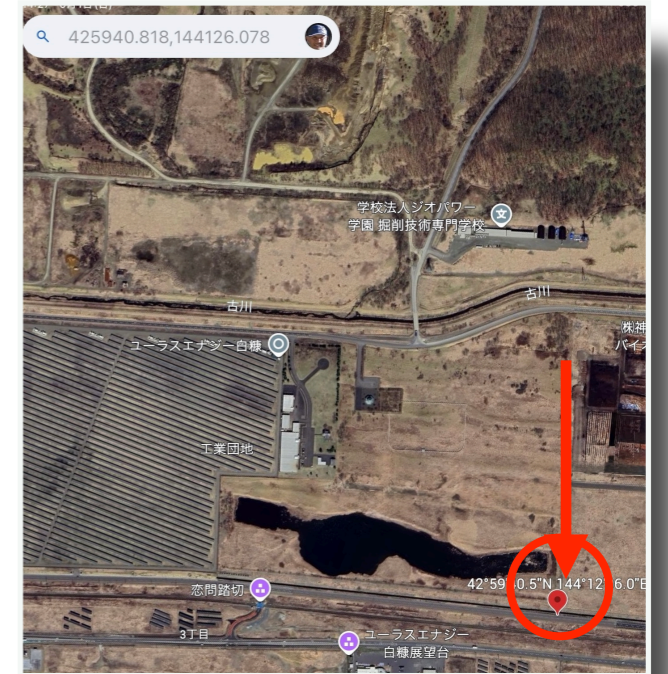
オオジシギの確認地点とオオジシギ



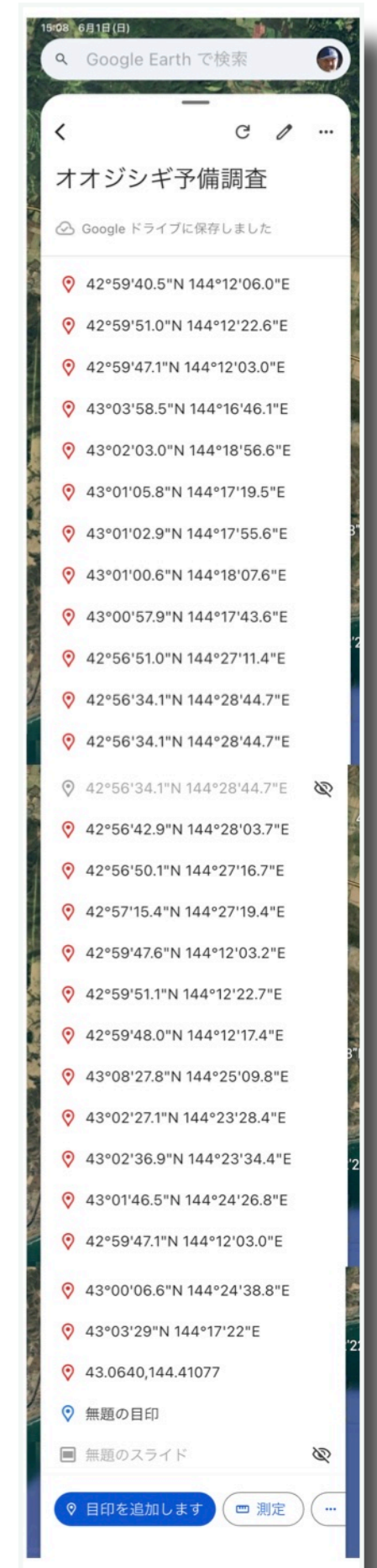
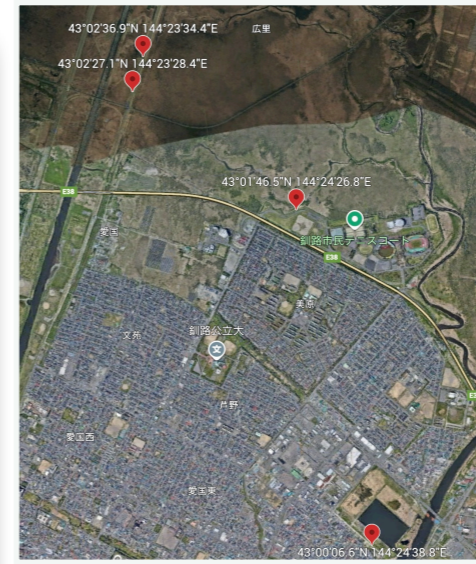
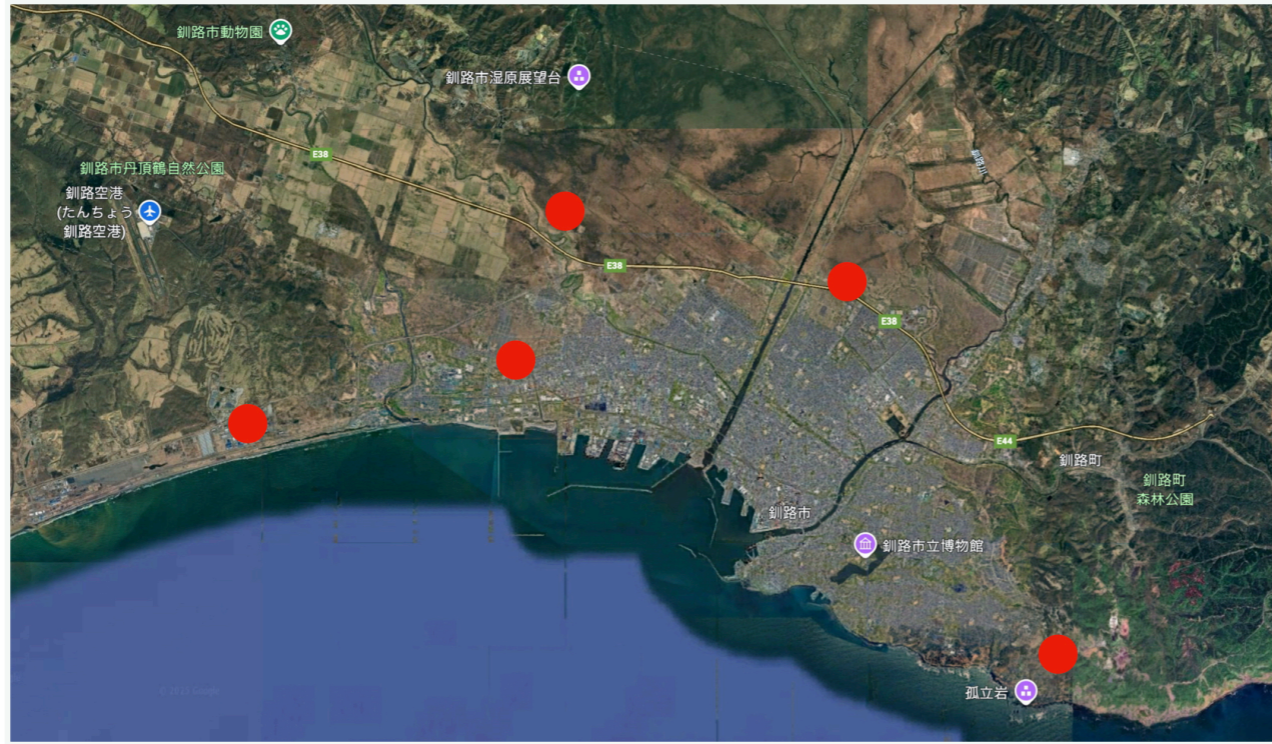
使用したGoogle Earth
のプラットフォーム



オオジシギのデジタル写真と
その緯度・経度情報



Google Earth地図上の観察地点



浜中町！

霧多布湿原センターで実施した オオジシギ調査のまとめ

KIWC技術委員・霧多布湿原センター
樋口 綾



湿原センターからお話しすること

1. 実施した背景と目的

2. 調査方法

①Googleフォーム ②観察会方式

3. 調査結果

4. 考察～スタッフが感じたこと～



実施した背景と目的

町民にオオジシギのことをもっと知ってもらいたい！



データが集まるか・興味を持ってもらえているか知ること
参加者が持つイメージや意見を聞くこと
やりやすい方法を考えること



調査方法

①Googleフォーム

②観察会方式

募集期間：2025年4月19日(土)から5月11日(日)まで
入力情報：ディスプレイフライトを観察した
緯度・経度・日時・わかる範囲で環境の情報
調査範囲：浜中町内

ディスプレイフライトを見間違えることはないものとして
参加者自身で動画などを調べてもらう方法をとった
湿原センターでの説明会は行わなかった

「オオジシギ調査」入力フォーム

オオジシギの鳴き声や急降下して飛ぶ様子を見た時の情報を入力してください。
ほんの一面の観察でも構いません。たくさんの方の情報をお待ちしております。
2か所以上の観察は、別で入力してください。
スマートフォンやタブレットで、「現在の緯度経度」等で検索すると調べられることもできます。

お問い合わせ: 0153-65-2779または center@kiritappu.or.jp
※観察時や、当フォーム、その他インターネット検索時等の事故・事件につきまして、森多布湿原センターは責任を負うことができません。

kiritappu.analyse@gmail.com [アカウントを切り替える](#) 

 共有なし

* 必須の項目です

緯度 (例: 43.088) 自分が立観察した場所で構いません。*

回答を入力

経度 (例: 145.050) *

回答を入力

観察した日*

日付

年 / 月 / 日

観察した時間*

時刻

__ : __

観察した場所から、飛んでいた場所が隠れている場合、飛んでいたオオジシギの
翼下の環境をご記入ください。(例: MGロード北側の湿原)

回答を入力

送信 フォームをクリア



調査方法

①Googleフォーム

②観察会方式

調査日：2025年4月20日と5月10日

移動方法：徒歩（2時間くらい歩ける方を対象）

参加人数：一般7名 子ども3名

〈15分のスライドトーク〉

- オオジシギの特徴や生息地・繁殖地
- 危急度があがっていること
- ディスプレイフライトについて

霧多布湿原センター

オオジシギの調査の参加者を募集！

2025.4.20 SUN/5.10 SAT

9:00 湿原センター集合 11:30 終了

参加費無料 先着7名 小学生以上

お電話にてお申込み受付

1時間半程度 歩いて調査をします
歩きやすい服装でお越しください
飲み物を持ってご参加ください

春先になると、空からスビャー！という鳴き声で、ビュンビュンという大きな羽音で急降下している鳥を見ることがありますか？その正体は湿原を繁殖地とするオオジシギです！オオジシギは2016年頃から個体数が減少しているとされています。重要な繁殖地である霧多布湿原で、ごれくらいオオジシギを観ることができると、一緒に観察してくれる方を募集します！

お問い合わせ・お申込み
霧多布湿原センター（4月まで火曜休館）
0153-65-2779



調査方法

- ①Googleフォーム
- ②観察会方式

調査日：2025年4月20日と5月10日

移動方法：徒歩（2時間くらい歩ける方を対象）

参加人数：一般7名 子ども3名

〈4/20〉

2組に分かれて湿原に隣接する歩道を歩いた
雨天のため北側のコースは表示よし短い

〈5/10〉

車で3か所から観察した

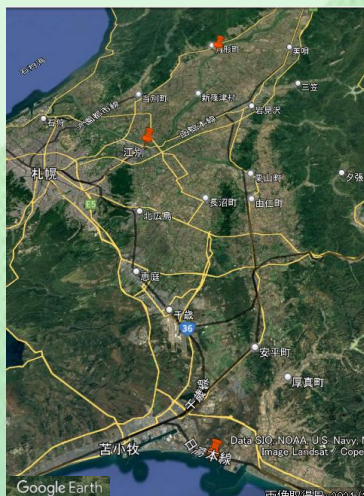


調査結果

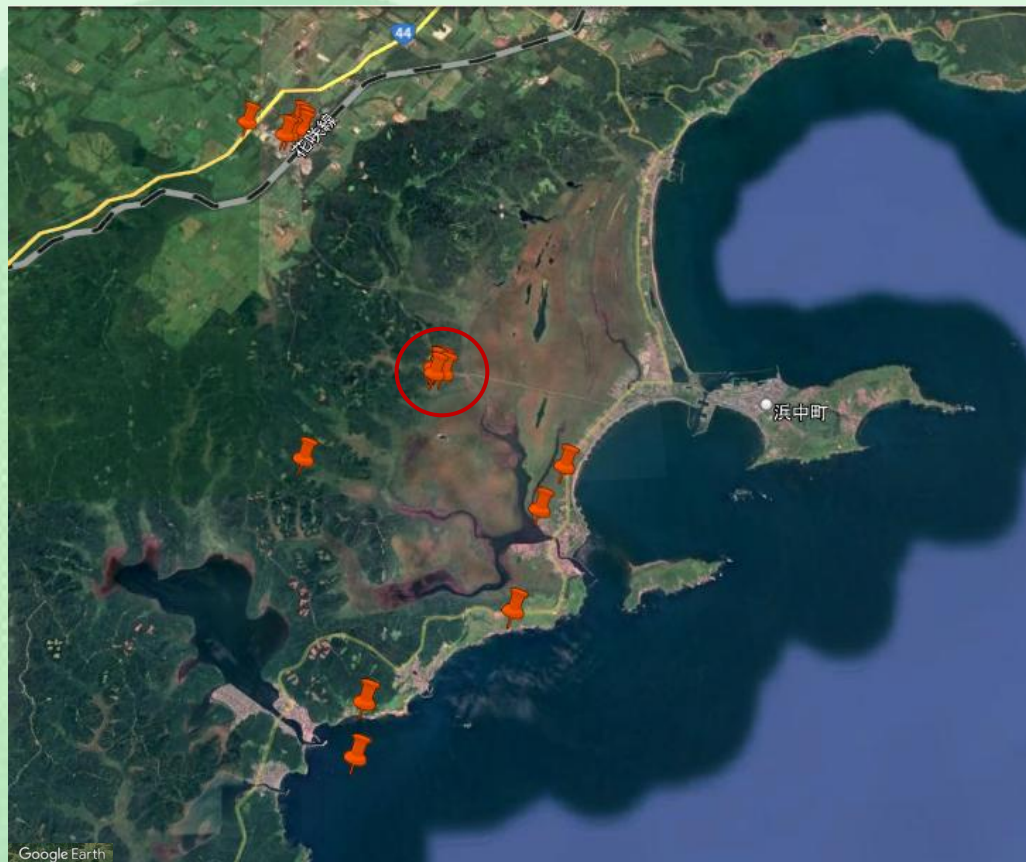
- ①Googleフォーム
- ②観察会方式

入力件数：29件（職員含む）

入力時間：8時～18時半



おまけ 札幌付近



浜中町でディスプレイフライトが確認されたポイント



考察～スタッフが感じたこと～

①Googleフォーム

②観察会方式

〈見直す点〉

- ・ 事前に調査を知らないと参加が難しい
- ・ 車移動が多いことから観察地点に偏りがある
 - ☞ いつも歩いている子どもたちをメインターゲットにできる？



〈良かった点〉

札幌市の参加者のように遠い人でもオンライン参加できたことが、データ収集と情報共有に繋がった。



考察～スタッフが感じたこと～

①Googleフォーム

②観察会方式

〈アンケート結果のまとめ〉

- ・ 調査目的だからより詳しい“マニアックな情報”がほしい
- ・ 鳥類調査の手法の紹介があると具体的な方法を検討できる
- ・ 参加者同士で意見交換する場があると良い
- ・ 子ども向けには観察会のみでオオジシギそのものを知る機会も良い
- ・ 湿原センターの展示物やSNSで結果のまとめを知りたい



まとめ

データが集まるか・興味を持ってもらえているか知ること

👉 思ったほどデータは集まらなかったが
想定より詳しい説明が必要とされ興味を持ってきている

参加者が持つイメージや意見を聞くこと

👉 フォーム・観察会のどちらも実施したことで
いろいろな意見をいただくことができた

方法を考えること

👉 ウェットランドセンターをはじめとし色々なところと
情報を共有して考えたい



オオジシギ市民調査ウェブアプリ入力マニュアル

① 写真入力

ファイル選択のうち選択できる方を選ぶ
(機種によって選択できない場合があります。)

① 写真 (任意)
カメラで撮影
ファイルを選択 選択されていません
写真ライブラリから選択
ファイルを選択 選択されていません

② 基本情報

氏名、発見日時を入力し、発見情報を選択します。
(氏名は任意で匿名でも可)

② 基本情報
氏名 (任意・匿名可)
匿名でも送信できます
発見日時 (必須)
発見状況 (必須)
選択

③ 位置情報

発見した場所が自分のいる場所の場合は「現在地取得」を押してください。緯度、経度が自動入力されます。

発見した場所が離れている場合は「地図を開く」を押してください。地図を開いたのちに発見した場所をタップしてください。緯度、経度が自動入力されます。

③ 位置 (必須)
現在地取得
地図を開く
緯度
経度

④ 連絡先

メールアドレスや電話番号を入力してください。
(どちらか必須)

④ 連絡先 (どちらか必須)
メール
例: example@gmail.com
電話番号
例: 09012345678
⑤ メモ (任意)
何かお問合せ事項がありましたらご連絡ください。

⑤ メモ

メモは問い合わせや気づき等ありましたら入力してください。

⑥ 送信

送信ボタンを押すと下に「送信されました。ご協力ありがとうございます！」と表示されます。これが表示されたら OK です。

送信

送信
送信できました。ご協力ありがとうございます!
—



「オオジシギを探せ！」調査内容

釧路国際ウェットランドセンターからのお願い

市民調査の背景・目的



オオジシギ市民調査 実施の背景

生息数は減少傾向とされている(準絶滅危惧種)

「ディスプレイフライト」によりオオジシギが確認しやすい

姉妹湿地提携のきっかけは「地域住民」の活動から

令和6年度に再度オオジシギの交流について着目

繁殖期の中で活発に活動する**4月～6月**に釧路管内で
「**オオジシギ生息域調査**」を行い、姉妹湿地提携先に結果の共有を行う。

調査内容

調査期間 令和8年4月19日(日)～6月30日(火)

調査内容 釧路管内のオオジシギ生息域把握調査

調査範囲 釧路管内(釧路市、釧路町、標茶町、鶴居村、厚岸町、浜中町)

調査方法 調査員は、釧路管内でオオジシギの個体確認ができた場所について、事務局へ報告。
事務局は、調査員の報告に基づき地図へ落とし込む。



写真提供:(公財)日本野鳥の会

※個体の確認方法については...

- ・目視
- ・「ディスプレイフライト」時の音(鳴き声、羽音)

報告方法



報告方法

元永氏作成「オオジシギ市民調査ウェブアプリ」を使用
(別紙:オオジシギ市民調査ウェブアプリ参照)

オオジシギ市民調査
ウェブアプリ

- ・発見日時、場所
- ・確認内容「姿の目視」「音(鳴き声・羽音)のみ」「両方」
- ・連絡先(メールアドレスか電話番号)



調査結果

調査結果は、以下の団体に共有する。

姉妹湿地提携市【オーストラリア ポートスティーブン市、ニューカッスル市】
ハンターウェットランドセンター

EAAFP(東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ)

また、KIWCのHPにも掲載予定(年内予定)



以上です。
明日からの市民調査、ご協力をお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました